

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2017年

2月

138号

徳成
器就

成就徳器（徳器を成就す）
徳の器を完成させる

宗教法人 真生会

平成二十九年信仰目標

衆善奉行
しゅうぜんぎょう

(たくさん善いことをする)

徳の器を大きくする

真生会の教えとは！

仏さまの智慧と

仏さまのものの見方を身に付け

自分の運命を変える

在家の法華経教団です。

宗旨宗派は問いません。

どなたでも安心してお越し下さい。

◇どの家庭も毎日が楽しく

ぬくもりと安心のある家庭になる

◇だれでも毎日がイキイキとし

ありのままに輝く自分になれる

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るいい心：（きっとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（人みな仏の子）

開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁

殺生とは何か！

仏教では「殺生」してはならぬと戒められていますが、これは単に生き物を殺してはならぬ、生臭いものを食べてはならぬというような浅い意味ではない。すべてを生かして使うことが殺生しないことである。職人ならば技術を伝承し、お金持ちならばお金を世のため人のために生かして使う。貯めておくだけなら死に金となる。値上がりを見込んで安い土地を使わずに遊ばせているのは土地の価値を殺している。家でも人が住まなければ朽ちてしまう。車でも衣服でも学問的知恵でも使わなかったらその価値を失ってしまう。

(昭和五十五年二月、真実生きる十五号より)

ぶし眞教法話

会長 田中庸仁たなかつねひと

◇結婚の資格！

【I】ある日、熱心なぶし信者の息子さんが彼女を連れて開祖さまに相談に来れました。彼は七人兄弟の末っ子で、高校卒業後自動車修理工場に勤めて二年余り、彼女は九州鹿児島から集団就職で岐阜へやって来て二年、二人ともやつと二十歳を過ぎたところですよ。知り合ってから一年足らずですが、結婚しようと思ひ、それぞれの親に話をしたら猛反対をされ、困って相談に来られたのです。事情を聴くと、長年郵便局に勤務し、真面目で一徹な彼の父は「九州のどこの誰ともよくわからない女性との結婚は許可できない。それに二人ともまだ若すぎる」と受け入れてくれません。彼女の親も「岐阜のどこの馬の骨ともわからない男に嫁がせることはできない」と怒っておられるのです。

「あなた方は確かに若い。しかし、若いから反対されているだけではありませんよ。どちらの親も相手のことを言っておられるように思えますが、実はあなた方自身が親から見られてまだ信用がないのです。我が息子、我が娘なら今

結婚しても大丈夫、しっかり生活していけるといふ信頼が足りていないのです。彼にお尋ねします。あなたは末っ子で、親にすればどの子よりも心配なものです。修理工場でどういう仕事をしているのか、いくら給料をもらっているのか、ちゃんと貯金はしているのか！たまには親に話したことがありますか。家にはしっかり生活費を入れていますか？

彼女も同様です。遠い岐阜に就職した娘のことを親はいつも心配しているのですよ。毎月親に便りをしていますか？はがき一枚で、親を安心させ喜ばせることができるのですよ。たとえ少しでも仕送りをしていますか？

二人はまだ若いのだから一年間は結婚を棚上げし、生活費を入れ仕送りをして育ててもらった恩返しをし、親が『よくやってくれるようになった』と安心して喜ぶことを積み重ねて下さい。そして、親孝行の心構えや立派な社会人になるための勉強に月に一度は教会にお参りして法を学んでください。一年しっかり実行したら、親もきつと認めてくれるでしょう。」

「先生、ありがとうございます。親が頑固で分からず屋なのではなく、私たちの足りないことが分かりました。一生懸命実行します」と希望に満ちた明

るい顔で帰られました。それ以後二人はよく実行され、毎月二人で教えを学びに教会にお参りになり、添削や指導を受けて教えに沿って努力されました。

もうすぐ一年が経とうかという頃、彼の父親が教会にやって来られ「先生、息子たちの結婚を許可してやって下さい。この一年の間に、息子も見違えるように頼もしくなり、生活費もしっかり入れてくれ、仕事の様子もよく話してくれます。休みの日には家のこともよく手伝ってくれるようになり、本当に親孝行の息子になりました。先生が一年は結婚してはいけないと止められたと聞きました。どうぞ、許可してやってください」と嬉しい答えが出ました。

彼女の親も娘の一年間の成長を喜び「お前が選んだ人なら安心だ。嫁にもらってもらいなさい」とこちらも心から賛同してもらえ、めでたく結婚されました。

【Ⅱ】あるご法座にご夫婦が息子の結婚の相談に来られました。「大学を出て税理士事務所に勤める息子が、もう三十歳も過ぎましたが、いつまでも見習いのような立場で給料が安くて結婚できません。どうしたら息子が結婚できるでしょうか」と親の心痛が伝わってくるご相談です。

「お尋ねしますが、息子さんは安月給の中から、家に生活費は入れて見えますか？」

「いいえ、生活費どころか、結婚資金も貯められません。まだ親の方が大変だろうからと思って小遣いを応援してやっているぐらいですから」

「それでは結婚は無理です。どんな安月給の中からも、家に生活費を入れるようになってこそ一人前です。社会人になって家に役立つどころか、寝泊り飲み食いさせてもらって小遣いまでもらっていたら、中高校生と同じです。年齢や肉体が大人になっても、天から見たら結婚できる資格と力がないのです。今月から、たとえば少しでも息子さんのできる精いっぱい的生活費を入れてもらって下さい。必ず道は開けてきます」と当時私はまだ二十代の独身でしたが、教えの真理には年令は関係ありません。師匠から教わった妙法の真理を精一杯お伝えしました。親も息子に伝え、教えの通りに実行されました。

半年後、税理士の先生が突然亡くなり、事務所もお客さんもすべて彼が受け継ぐことになりました。そして、お見合いの話が舞い込み、めでたく結婚されたのです。天から見て、結婚できる資格が整ったのでしよう。

◇親孝行は人生の基本

派遣社員、ワーキングプアなど、結婚したくてもできない様々な理由もあるでしょう。しかし、社会の問題だけではなく、自分自身の根本の問題があります。大学進学率が50%を超え、大学進学が当たり前のようになっていますが、子供一人を大学まで卒業させるまでの苦労は大変なものです。塾通いやクラブ活動や習い事などの経済的苦労に限らず、社会人になるまでにはたくさん愛情と手間暇、心配をかけて育ててもらった恩返しやり残しがたくさんあるとなかく結婚の機が熟さないので。社会人になったら給料の多い少ないにかかわらず、力に応じて家に生活費を入れ、家事を手伝い、高校大学まで行かせてもらったご恩返しができるこそ、一人前の社会人です。

「報恩の人生は栄え、忘恩の人生は滅びる」これが真理です。社会人になっても家に生活費を入れず、給料は自分のことだけに使い、休みの日は遊びたいだけ遊んで家のことはほとんどしない。ホテルや旅館でもただで寝泊り飲み食いして出て行けば、無銭飲食で手錠がかかります。ご恩返しもせずに結婚すれば、経済や育児、家族関係といった生活苦という牢獄につながれ、心身ともに

窮屈な結婚生活をしている夫婦も多くいます。

では、どうしたら幸せを掴めるのでしょうか。

① 経済的に恩返しをする

社会人になったら、同居や下宿にかかわらず、三万円は家に入れましょう。結婚してからでは難しくなるので、独身のうちに実践することです。

② 労力で恩返しする

お客さまやお据え膳せんとにならぬよう平素からできる身近な家事を手伝う。休みの日には、自分のことや遊びだけではなく、家業や家事を手伝う。

③ 精神的に恩返しする

優しい言葉やいたわりの言葉、思いやりのある言葉掛けをする。時々は会社や仕事の様子を話し安心を与える。

人は誰しも自己実現（夢や目標の達成）を願い、自己承認（認められ、褒められること）の欲求があります。認められ、褒められ、夢や目標を達成するには、『衆善奉行』徳の積める良い事を粘り強く続けて幸福がいつばい受け止められる『徳の器を大きくする』ことです。

今月の運勢（3月）

（2017年3月5日～4月3日）

一 白水星

思わぬ苦境に遭遇し茫然と立ちすくんでしまう。一挙に挽回しようとして、立ち止まることが大切。徳人に相談して粘り強く柔軟に対処し、新しいやり方に切り替えるときよい。

二 黒土星

太陽の輝きを受け気分も明るくアイデアも冴える。調子に乗りすぎると嫉妬を受けやすいので才気を表に出し過ぎず謙虚に行動すること。怒りや争いは運気を下げるので要注意。

三 碧木星

運気は低迷しているが自分を見つめ直す良い

チャンスだ。人間関係を

を大切にし、しっかりと先祖供養をすること。いかなる問題も時が解決する。どっしり構えて静観しよう。

四 緑木星

衰運期を抜け、チャンス到来、機が熟し何をやるにも勢いがあり、願い事は叶う。慌てず太陽が昇るようにゆっくりと着実に前進しよう。明るい言葉を心がけ、周囲と助け合えば、さらに勢いが増す。

五 黄土星

いよいよ高運期に入った。明るい挨拶を心がけよう。目標に向かって歩み出す時だが、一

気呵成に事を進めるの

ではなく、ゆっくりと確実に歩を進めよう。早起きは運気を高める

六 白金星

今月は人脈を広げ、活動範囲を広げてのびのびと活動しよう。出会いの妙がある。異質のものとの出会いや突然の出会いが発展のきっかけとなるよう大切に生かしていこう。

七 赤金星

一度とどまって今年に入ってから行動を振り返り、計画を練り直す時。身も心も休め充分エネルギーを蓄えて来月の完成の時期に備えよう。軽率な行動は

控えるよう。

八 白土星

今月は新しいことを始める時ではないが、大きな成果が期待できる。充実感にあふれている今、スピードを上げて今日までやってきたことをしっかりとめ上げよう。目上の人や徳人に庇護される。

九 紫火星

人との出会いや家族との触れ合いが楽しい月となるが、調子に乗って軽口を言うと思わぬ衝突が起きる。楽しい中にも礼儀と節度をわきまえること。尊敬できる人に従っていけば幸せになれる。

しあわせ眼鏡

《苦勞を喜べ》

温室の花は

美しく咲くが風雨に弱い

肥料も水も温度も

十分与えられているが

圃に当たっておらぬが故に

野花より弱い

人生の苦勞を知らぬ人は弱

い

苦勞こそ力強い人を作る原

動力である

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | | |
|----------|------------|----------------------|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地 |
| | | TEL 058 - 235 - 7304 |
| 【所沢教会】 | 〒 359-0037 | 所沢市くすのき台 1-9-5 |
| | | TEL 04 - 2992 - 8236 |
| 【名古屋教会】 | 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3-10 |
| | | TEL 052 - 351 - 3904 |
| 【岐阜教会】 | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3-19 |
| | | TEL 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10 |
| | | TEL 06 - 6308 - 5637 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り
します。詳しくはお尋ねください。

2017年2月10日発行 第138号(通巻243号)

※誌代無料(献金・浄財)の無料発行!